

三菱商事の社会貢献活動

DREAM AS ONE.

～ともに一つになり、夢に向かって～

2014年に三菱商事が立ち上げた障がい者スポーツ応援プロジェクトDREAM AS ONE。今号では、その活動の一環として行っている「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会」(茨城県土浦市)における伴走ボランティアへの取り組みを紹介します。



本大会は国際パラリンピック委員会(通称:IPC*)公認の国際盲人マラソン大会であり、三菱商事は2015年から本大会のオフィシャルパートナーを務めています。2017年大会では、

視覚障がいのあるランナーと並走し道先案内を行う伴走ボランティアがフルマラソンの部に1名、5kmマラソンの部に3名出場し全員完走したほか、体調を崩したランナーを救護する救

護ボランティアランナー、給水所の運営ボランティアとして約30名が参加するなど、多くの当社社員が大会を支えました。

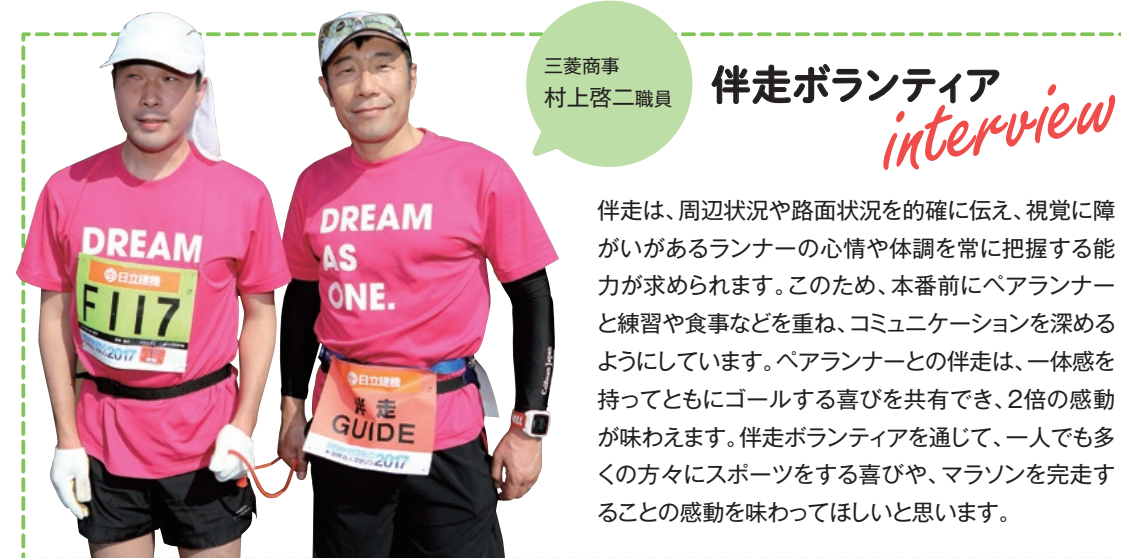
※IPC: International Paralympic Committee

熱い絆で思いを一つに、ゴールを目指す

ロープで結ばれた熱い絆。障がいのあるランナーと伴走ボランティアは「きずな」と呼ばれるロープを手に持ってつながり、ともにゴールを目指します。ランナーにとって見知らぬ道を走るのは不安で、伴走者との信頼関係なくして完走することはできません。伴走ボランティアには、コースを完走する体力はもちろん、ランナーと思いを一つにするためのきめ細かな配慮が求められます。三菱商事では、伴走ボランティアの認知向上や伴走者育成を目的に、当社社員に向けて「伴走ボランティアセミナー

&体験会」を毎年開催し、三菱商事所属の視覚障がいランナー高橋勇市選手から視覚障がいマラソンのレクチャーや伴走者へのアドバイスを受けながら、実際にアイマスクを着けて伴走を体験しています。

視覚障がいランナーにとって、自身が走りたときにともに走れる伴走者が不足している状況の中、一人でも多くの人にスポーツの楽しさ、感動を味わってもらえるよう、今後もさまざまな面から障がい者スポーツを応援していきます。



三菱商事
村上啓二職員

伴走ボランティア
interview

伴走は、周辺状況や路面状況を的確に伝え、視覚に障がいがあるランナーの心情や体調を常に把握する能力が求められます。このため、本番前にペアランナーと練習や食事などを重ね、コミュニケーションを深めるようにしています。ペアランナーとの伴走は、一体感を持ってともにゴールする喜びを共有でき、2倍の感動が味わえます。伴走ボランティアを通じて、一人でも多くの方々にスポーツをする喜びや、マラソンを完走することの感動を味わってほしいと思います。